予算決算委員会文教厚生分科会　会議録

＝＝＝

日　時　令和５年６月１５日（木）
　　午前１１時７分開会、午前１１時３１分閉会
場　所　第２委員会室

１　開　会
２　委員長あいさつ
３　協議事項
　（１）付託された議案の審査
　①議案第４８号　令和５年度土浦市一般会計補正予算（第４回）第１表歳入歳出予算補正中歳出第３款（民生費）、第９款（教育費）
４　その他
５　閉　会

出席委員（７名）
委員長　　矢口　勝雄
副委員長　田中　義法
委　員　　吉田　千鶴子
委　員　　鈴木　一彦
委　員　　勝田　達也
委　員　　平岡　房子
委　員　　根本　法子

欠席委員（１名）
委　員　　福田　勝夫

説明のため出席した者（９名）
保健福祉部長　　羽生　元幸
社会福祉課長　　坂本　英宣

こども未来部長	平井　康裕
保育課長	野中　佑起男
教育長	入野　浩美
教育部長	望月　亮一
学務課長	塚本　耕司
生涯学習課長	佐賀　憲一
スポーツ振興課長	寺崎　敏彦

事務局職員出席者

主　幹　　高橋　陽平

傍聴者（なし）

○矢口委員長　予算決算委員会文教厚生分科会を開会いたします。それでは、協議事項（１）に付託された議案の審査に入ります。資料は、本会議、令和５年、第２回定例会、事前配付資料、議案４１号～５３号を御覧ください。議案第４８号、令和５年度土浦市一般会計補正予算（第４回）第１表歳入歳出予算補正歳出中第３款（民生費）、第９款（教育費）について、執行部より順次説明願います。

○坂本社会福祉課長　議案書にて説明させていただきます。議案書の２９ページをお願いいたします。２９ページの下の箱の３款民生費、１項社会福祉費、１目社会福祉総務費になります。こちらにつきましては、令和５年の３月に受け入れました寄付金について、土浦市社会福祉事業基金への積立てを行うための増額補正を行うものでございます。つづきまして、次のページをお願いいたします。３０ページの上の箱になります。１１目価格高騰緊急支援給付金給付事業、こちらになります。令和４年度に実施しました住民税非課税世帯等１世帯当たり５万円を給付した事業の国庫支出金の精算に伴い返還金が発生したため、令和５年度において増額補正を行うものです。その下の１２目非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業、こちらは、令和３年度に実施しました住民税非課税世帯等１世帯当たり１０万円を給付した事業を令和４年度にも追加で実施いたしました。この令和４年度実施分の国庫支出金の精算に伴い返還金が発生したため、令和５年度において増額補正を行うものでございます。

○野中保育課長　引き続き、議案書の３０ページを御覧いただければと思います。３款民生費、２項児童福祉費、６目私立保育園費、１８節負担金補助及び交付金で私立保育施設等送迎バス安全装置設置事業としまして２１０万円を増額補正させていただくものでございます。補正の理由ですが、令和４年９月の静岡県の認定こども園で発生しました送迎バス置き去り事故を受けまして、送迎バスでの子供の置き去りを防止するため、保育所や認定こども園等で現在使用している送迎用バスに安全装置の設置を要する費用を補助するものでございます。市が補助の窓口となっています対象施設及び対象台数は、私立保育所が１施設で１台、幼保連携型の認定こども園が４施設で９台、認可外託児施設が２施設で２台の合計７施設で、１２台が対象になります。バス１台当たりの基準額が１７万５，０００円ですが、こちらは県の１０分の１０の保育所等安全対策事業費補助金になり、１７万５，０００円掛ける１２台で、２１０万円の増額補正をお願いするものです。本日、お手元に市内の教育保育施設、送迎バスの安全装置の設置状況のほうを配布させていただきましたが、市内１８施設で補助対象の送迎バスの台数が３７台、既に設置済みが８台で、設置率は２１．６％でございます。

○坂本社会福祉課長　議案書３１ページをお願いいたします。上の箱の３款民生費、３項生活保護費、１目生活保護総務費になります。こちらは、令和５年の１０月に生活保護費の一部の基準改定がなされることから、支給するシステムの改修が発生するため、電算業務委託料の増額補正を行うものです。

○塚本学務課長　議案書の３２ページの上から２番目の表をお願いいたします。９款教育費、２項小学校費、１目学校管理費、１７節備品購入費につきましては、市内４校において計１０台運行しております小学校通学バスの安全対策強化に当たり、自動置き去り防止装置を設置するため、１５１万３，０００円の歳出予算の増額補正をお願いするものでございます。対象経費につきましては、国の令和４年度補正予算を財源としました県補助金を活用いたします。つづきまして、事前の文教厚生委員会におきまして吉田千鶴子委員から御依頼のございました小学校スクールバスの安全装置の資料について、御説明をさせていただきます。恐れ入りますが、資料は一旦、サイドブックスの最初の画面、ホーム画面にお戻りください。つぎに、文教厚生委員会、令和５年、６月１５日開催、資料番号⑤をお願いいたします。それでは、説明に入らせていただきます。小学校スクールバス運行委託事業に係る安全装置の概要についてでございますが、資料の中ほどの太枠にございます構成品の車内配置を御覧ください。こちらが安全装置全体のイメージでございます。バスのエンジンを切った際に、車両後方の安全装置本体から流れる警報を止めに行くことで、運転席に戻るまでに社内の安全確認を行いまして、児童の置き去りを防止するものでございます。安全装置本体

は写真にございますようなボタン式となってございまして、赤い部分を押すことで警報が解除されるものでございます。なお、万が一児童が社外に取り残されてしまった場合に備え、社内からＳＯＳを発信できるボタンでございますが、このようなボタンを追加設置することで、安全性の向上が期待できるものでございます。

○佐賀生涯学習課長　資料は議案のほうにお戻りいただきたいと思います。ただ今の資料を閉じていただきまして、再度一番最初の画面のほうにお戻りください。フォルダのほうを本議会、令和５年、第２回定例会、事前配付資料、こちらの議案４１号～議案５３号の資料をお願いいたします。こちらのページの３２ページをお願いいたします。一番下の箱、４項社会教育費、６公民館費、荒川沖地区学習等供用施設管理運営事業でございます。荒川沖の東部地区学習等供用施設の耐震診断の委託料でございます。本年３月に策定されました土浦市公共施設等再編再配置計画において、本施設は地元の意向を確認の上で譲渡移管が妥当とされたことから、今後地元が管理方針を判断する上で耐震診断を実施する必要があり、増額補正をお願いするものでございます。補正額は、４１３万６，０００円でございます。

○寺崎スポーツ振興課長　資料の３３ページの下の箱でございます。９款、５項、３目体育施設費の１２節委託料でございます。川口運動公園の陸上競技場管理棟及びテニスコート管理棟については多くの一般利用があり、特に陸上競技場管理棟においては管理事務所を兼ねていることや、かすみがうらマラソンなど、今後も当面の間は施設の使用を継続すると見込まれることからも安全面を最優先し、早急に耐震診断を実施するために、川口運動公園整備事業の一環として耐震診断委託料１，４９２万７，０００円の歳出予算を増額補正させていただくものでございます。

○矢口委員長　以上６件にわたり説明いただきました。委員の皆様からこの件に関して質問等ございますか。

○鈴木委員　荒川沖地区学習施設の管理の耐震診断等、今話しされた川口のどちらも同じく耐震診断なのですが、これは業務を発注する時は別々になってきますよね。

○佐賀生涯学習課長　発注につきましては別々に発注させていただきたいと思っております。

○鈴木委員　同じ教育委員会内でもやっぱり事業が違うから、いろいろ補助の関係もあるんでしょうけれど、こういうのを一括してやったほうが安上がりになるとか、そういった考えは今後できませんか。技術的な問題もあると思いますが。

○望月教育部長　今、鈴木委員のほうからお話がありましたけれども、それぞれ所管してる課としてはスポーツ振興課と生涯学習課に分かれますけれど、内容としては耐震診断という同類の内容になりますので、そういう方法も、一括して発注する方法も可能なのかなというふうにも考えられますので、発注の形態については契約事項に関

係するものでございますので、管財課を通して選考委員会というような形の中で検討しなければならないかなと思っております。そういった御意見を反映できるかどうか、何か支障になる部分があるかどうか、確認をしていきたいなと思っておりますので、その内容については御報告をさせていただければと思っております。

○鈴木委員　なぜ今のような質問をしたかというと、前回菊田課長のほうの案件で、保育所の耐震でしたか。結構多数の施設をまとめてやったことによって、かなり安い値段で仕事を発注したという記憶があったので、今からおそらく耐震診断という仕事は多く発注するので、部が違う場合は難しいとしても、せめて同じ部内では法に触れない限り、発注の仕方があっても安くできればいいのかなと思っただけですので。無理なら無理で大丈夫ですから。

○望月教育部長　御指摘の内容につきましては、まとめて発注することによるメリット、デメリット等もありますので、きちんと整理をして対応の結果は報告させていただきたいと思います。

○矢口委員長　ほかに質問ございますか。

○吉田（千）委員　今の関連なのですが、耐震診断なんですけれども、まず、荒川沖学習共用施設の耐震診断です。どこをどういうふうに耐震診断をされるのか分からないので、教えていただければというふうに思います。

○佐賀課長　こちらですけれども、く体の強度と揺れに対する強度の審査ということになっておりまして、基本的には耐震改修の促進法の法律及び市の耐震改修促進計画に基づきまして、耐震の有無を確認するというようなことで実施させていただくものでございます。

○吉田（千）委員　細かいところを聞いて大変恐縮なんですけれども、そういう法律に基づいてやるということなんですけれども、強度は幾つぐらいとか、何か数値が出てるのではないかと思うのですが。その辺はどの程度保たれたら耐震が可能だよということになるのか。その辺は何かありますでしょうか。

○佐賀課長　こちらの数値が定められておりまして、ＩＳ値という数値がございまして、そちらが０．６以上が確保されている状況であれば、耐震があるというようなことで診断されるものでございます。

○吉田（千）委員　しっかりと耐震診断が行われるということが大事かというふうにも思いますので、よろしくお願いします。川口運動公園も同じようなことでの診断かというふうに思いますが、改めてお伺いします。

○寺崎スポーツ振興課長　おっしゃるとおり、スポーツ振興課管理の川口運動公園の施設についてもスポーツ施設ではございますが、同様でございます。

○吉田（千）委員　どうぞよろしくお願いしたいと思います。また、先ほどの子供たちの置き去りがないように今回付けていただくということで、よく見えるようにアップしていただいてありがとうございます。その中で、万が一付けたけれども中にいる時に、何かボタンが押せる仕組みになってるというふうに分かったんですけれども、その辺は本当に子供たちがそのことをよく知らないと、せっかくボタンがあってもそのボタンが押せなければ、何も意味がなくなってしまいますので、その辺をしっかり徹底をしていただきたいなというふうに感じました。

○塚本学務課長　御意見ありがとうございます。当然こういったボタンのほうはあるに越したことはない必要な部分でございますので、その利用も含めて、学校を通して保護者も含めて周知のほうは徹底を図っていきたいと考えてございます。

○矢口委員長　この件に関して私からも意見、確認させてください。分かりやすい資料をありがとうございました。とても仕組みとしては単純ですし、有効だとは思うのですが、一つ心配なのはこういった装置は煩わしくて、例えば通常の業務ではいいでしょうけど、回送する時とか、エンジンを切る度にその子供が絶対いない状況で、また後ろに行って切らなきゃいけないということで、元スイッチを切ってしまうような状況、もちろん元スイッチを切って、通常業務に戻った時には戻すというようなつもりで切るようなことになるのかなということが予想できるんですけど、元のスイッチを切ったり入れたりというようなスイッチはあるものなんでしょうか。

○塚本学務課長　このようなシステム、こちらのあくまでもイメージということで今回お示しをさせていただいたところでございますが、基本的に大元を切らないように、委託しているバス業者のほうにも市教育委員会のほうから指導していく中で、システム上もそういうことができないようなことで対応していきたいと考えてございます。また、先ほど説明の中にはございませんでしたが、仮に後ろの車両後方の警報を切らないでいると、車外スピーカーのほうから再度きちんと警報を切ってくださいというような機能もございますので、そのような部分を活用しながら対応のほうはしていきたいと考えてございます。

○入野教育長　私のほうから補足をさせていただきます。このような事故があった関係で国のほうも私どももこういう措置をとるわけですが、最後はやっぱり運転手、あるいは引率の教員がいる場合もありますけれども、マンパワーといいますか、人がしっかりと目視で確認するということで、実際にこのスクールバスは委託をしておりますが、委託業者のほうにしっかりと最後は目で確認をするようにという指導をしてまいりたいというふうに思います。万が一故障した時には、こういった事故が二度と起こらないようにしなければいけませんので、そういった意味で、最後は人間の目だというふうなことで指導をしてまいりたいというふうに考えております。

○矢口委員長　よろしくお願いいたします。ほかに委員の皆さんから質問等ございませんか。

（「なし」との声あり）

○矢口委員長　ないようですので、賛否を確認いたします。この議案第４８号、令和５年度土浦市一般会計補正予算（４回）第１表歳入歳出予算補正歳出中第３款民生費、第９款教育費について、賛成とする方は挙手を願います。

（６名全員挙手）

○矢口委員長　全員賛成と認めます。以上で予算決算委員会文教厚生分科会を閉会いたします。